



堺市障害者自立支援協議会 「障害当事者部会」を訪問

7月22日、竹山市長は堺市障害者自立支援協議会の「障害当事者部会」の皆さんを訪ね、活動状況などの説明を受けた後、懇談を行いました。

障害当事者部会は、障害のある方々を構成され、当事者同士が交流し理解を深め、当事者の視点で本市の相談・支援業務のあり方について意見を反映させる場として設置されています。

部会委員は11人で、毎月1回開催されています。

懇談では、皆さんから「お世話になっている方への感謝の思いも込めて活動しています」「災害時に避難所で見えない障害（精神障害、知的障害、難病、発達障害、内部疾患など）のある方への理解が得られるのが心配です。併せて地域のネットワークが希薄になっていることも課題と感じていま

す」「最近報道にあったような障害者施設への虐待やいじめに

ついては、どのように対応すれば良いでしょうか」「堺市の姉妹



都市であるより力のあるバークレー市は、障害者自立支援の地と言われ、世界で初めて自立生活センターができた都市です。いつか堺市もバークレー市のように、より障害者が住みやすくなるよう、当事者としてこの活動を続けていきたいですなどの声がありました。

これに対して竹山市長は「皆さんが障害施策について主体的に考えておられていることを、とてもうれしく思います」「災害時は、介助者とともに避難できる福祉避難所

を、より一層整備していくことが必要です」「『当事者』をしっかりと把握し、地域の皆さんと一緒に避難できるような体制をつくることが大切だと思います」「虐待やいじめは施設からも地域からも根絶しなければなりません。万一の場合は、迷わずに身近な人に伝えるか、堺市の相談窓口（☎228・39979）に電話をかけてください」「さまざまな障害に対して、課題もそれぞれ違います。それらを具体的に解決していくのが行政の仕事です。これからもこの当事者部会で意見を発信していただき、行政はそれを生かしてまいりますと述べました。

問合せ＝市政情報課（☎228・74775 FAX 228・74444）へ。